コロンビア経済（２０１４年１０月）

　１０月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

●27日から11月7日までの日程で，ボゴタにおいて日・コロンビアEPA交渉第8回会合が行われた。

●マリアナ・セラスティ商工観光省貿易担当次官は，「本年末までに対韓国FTAについて本国会で承認が得られることを期待する」と述べた。

●カルデナス財務・公債相は，2014年の経済成長率を5％と見込んでいると述べた。

●タックスヘイブンリストにパナマを追加したことでコロンビア・パナマ関係が一時ぎくしゃくしたが，パナマ政府が租税情報交換を含む二重課税防止協定の交渉を行うことを定めた基本合意書に同意したことから，サントス大統領が同国をリストから削除する政令に署名し，幕引きとなった。

●カルデナス財務・公債相は，「KfWドイツ復興金融公庫と武力紛争終結及び被害者支援等を資金使途とした1億ドルの借款契約を締結した」と発表した。

【本文】

１　主な出来事

＜国内情勢＞

（１）経済見通し（8日及び26日，当地紙報道）

　IMFは，2014年の経済成長率を4.8％，2015年の同成長率を4.5％と予想した。

　カルデナス財務・公債相は，石油価格の下落，欧州地域の景気後退，不安定な国際市場等の不透明さは存在するものの，2014年の経済成長率を5％と見込んでいると述べた。

（２）ビジネス環境ランキング（29日，当地紙報道）

　世界銀行による2015年版国別ビジネス環境ランキングのおいて，前年からランキングを19位上げたコロンビアは34位となりラテンアメリカでトップとなった。

（３）2015年国家予算額承認（17日，当地紙報道）

　議会において2015年予算案総額（216.2兆ペソ）が承認されたものの，税制改革（保有資産にかかる税率の変更）による収入12.5兆ペソも加味されており，議会による本年中の承認が期待される。

（４）第4世代道路網整備プロジェクト（4G）（18日及び23日，当地紙報道）

　　ANI（国会インフラ庁）は，9プロジェクトあるコンセッション契約のうち，8つについて落札されたことを明らかにした。

（５）借款契約（21日，当地紙報道）

　カルデナス財務・公債相は，「KfWドイツ復興金融公庫と武力紛争終結及び被害者支援等を資金使途とした1億ドルの借款契約を締結した」と発表した。

（６）企業動向：トヨタ自動車（24日及び30日，当地紙報道）

　11月6日，コロンビアにあるトヨタ自動車の2つの販売代理店（Distoyota及びトヨタ自動車コロンビア：Toyota de Colombia）が統合し，コロンビアトヨタ自動車株式会社（Automotores Toyota Colombia S.A.S.）を立ち上げた。なお，2014年9月までのトヨタ車の販売台数は9,666台であり，通年では15,000台を見込んでいる。

＜対外経済関係＞

（１）対EU FTA関連（21日，当地紙報道）

　ベルギーのアストリッド王女は経済ミッションを率いて，コロンビアを訪問した。また，同経済ミッションに同行したレンデルス外相兼貿易相は，「EU・コロンビアFTAを通して二国間貿易は徐々に恩恵を受けている」と述べた。

（２）対韓国FTA関連（28日，当地紙報道）

　マリアナ・セラスティ商工観光省貿易担当次官は，「本年末までに対韓国FTAについて本国会で承認が得られることを期待する」と述べた。

（３）対日EPA関連（27日及び28日，プレスリリース及び当地紙報道）

　27日から11月7日までの日程でボゴタにおいて日・コロンビアEPA交渉第8回会合が実施された。本会合では，マーケットアクセス，貿易と持続可能な開発，協力，制度的事項，政府調達，電子商取引，知財，金融サービス，税関手続，原産地規則，貿易救済等について交渉が行われた。

　アルバレス－コレア商工観光大臣は，「世界第3位の経済規模を誇り，農業物を大量に輸入している日本とのEPA交渉は重要である」と述べた。

（４）太平洋同盟（26日，当地紙報道）

　コロンビア外務省は，11月1日にカルタヘナにおいて太平洋同盟及びメルコスールの閣僚級会合を開催すると発表した。

（５）対パナマ関連（9日，14日，18日及び22日，当地紙報道）

　8日，コロンビアはタックスヘイブンリストを発表し，租税情報公開が不十分であること。租税情報交換協定の署名を拒んでいるという理由から，パナマを同リストに追加した。

　17日，オルギン外相は，タックスヘイブンリストにパナマを追加したことに伴い発生した諸問題を解決するためにパナマを訪問して同国外相と会談し，今後も二国間対話を継続することとなった。

　21日，サントス大統領は，「パナマ政府が租税情報交換を含む二重課税防止協定の交渉を行うことを定めた基本合意書に同意したことから，同国をタックスヘイブンリストから削除する政令に署名した」と発表した。

（６）OECD（21日，当地紙新聞）

　カルデナス財務・公債相は，「コロンビアは2年以内にOECDに加盟できることを期待する」と述べた。

＜経済指標＞

（１）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

　8月の実質工業生産指数（コーヒー豆加工を除く）は前年同月比0.3％であった。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

　8月の実質小売売上高指数は前年同月比＋7.5％であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

　9月の消費者信頼感指数（ICC）は，17.1％と前月（20.0％）を2.9％ポイント下回った。　また，前年同月比では2.5％ポイント上昇した。

（２）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

　9月の石油生産量は日量99.3万バレルであり，前年同月比▲0.2％となった。前月比▲0.1％であり，3ヶ月連続で100万バレルを下回っている。また，2014年1月から9月までの石油生産量は日量98.3万バレルと100万バレルを下回っている。

（イ）コーヒー

（ⅰ）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

　FNC加盟コーヒー生産者による9月のコーヒー生産量は91.2万袋（1袋＝60kg）となり，前年同月比で6.0％増加した。

（ⅱ）価格（国際コーヒー機関発表）

　10月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド＝2.23ドル（前月は同2.07ドル，前年同月は同1.25ドル）であった。

（３）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

　9月の消費者物価上昇率は＋2.86％（前年同月比，以下同），生産者物価上昇率は0.52％であった。

（イ）雇用

　9月の全国平均失業率は8.4％と，前年同月の9.0％より0.6ポイント改善した。また，主要13都市の平均失業率は9.3％と，前年同月の9.9％より0.6ポイント改善した。

（４）貿易収支（DANE発表）

　8月の貿易収支（FOB）は，1.59億ドルの黒字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比▲3.0％の48.30億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比＋1.5％の49.02億ドルとなった。（了）